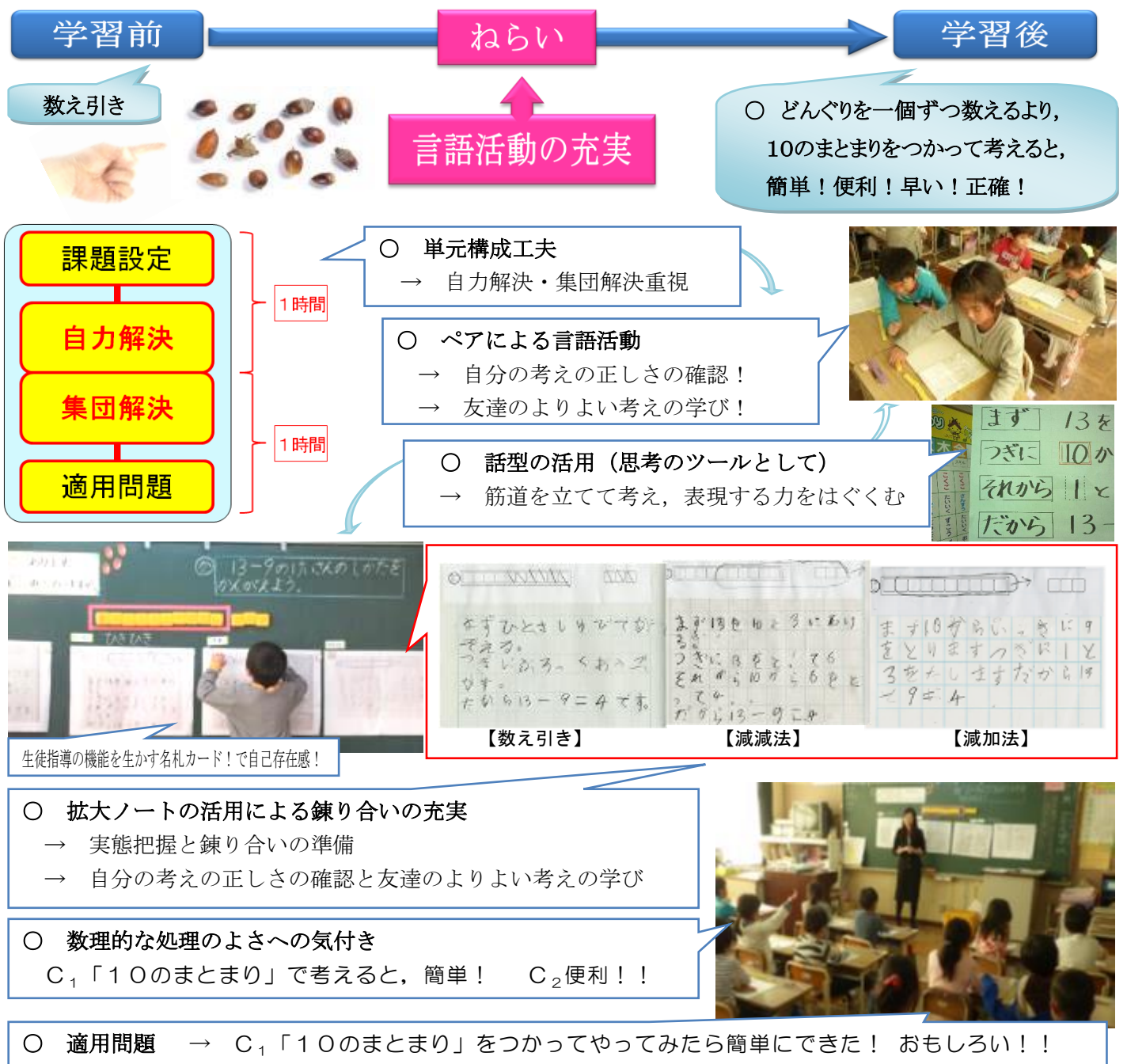


<テーマ> 拡大ノートで練り合い、考えを深めた取組（東松島市立大塩小学校）

【ねらいと特色】 1年「ひきざん」

集団解決で児童による練り合いを充実させ、数理的な処理のよさに気付かせる授業では、時間が足りなくなり、その結果、終末は駆け足でまとめて終わらせてしまうことがある。そこで、児童にじっくりと考える活動を行わせ「数学的な考え方」を身に付けさせる授業を行うために、単元構成を工夫し、1時間の授業モデルの内容を2時間扱いで行う。1時間目には、体験活動を踏まえた自力解決を行い、2時間目には、それらを踏まえて10のまとまりに着目させ、減加法の数理的な処理のよさに気付かせる集団解決を行う。その際、児童のノートを拡大コピーして提示することにより、発表者と聞き手に考えを共有させ、よりよい練り合いへと発展させる。また、集団解決の前には、ペアで伝え合う活動を取り入れ、自分の考えの正しさを確認したりよりよい考えを学んだりする場とする。「まず」「つぎに」「だから」などの話型を活用して説明させることで自分自身の考えを整理し、筋道を立て考え、表現する力を育む手立てとする順を追って説明する力を育てていく。

【実践の概要】



学習前

ねらい

学習後

数え引き

言語活動の充実

O どんぐりを一個ずつ数えるより、
10のまとまりをつかって考えると、
簡単！便利！早い！正確！

課題設定

自力解決

集団解決

適用問題

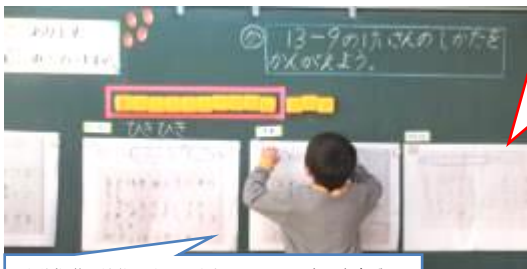
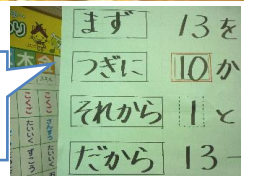
1時間

1時間

O 単元構成工夫
→ 自力解決・集団解決重視

O ペアによる言語活動
→ 自分の考えの正しさの確認！
→ 友達のよりよい考えの学び！

O 話型の活用（思考のツールとして）
→ 筋道を立てて考え、表現する力をはぐくむ



生徒指導の機能を生かす名札カード！で自己存在感！



【教え引き】

【減減法】

【減加法】

O 拡大ノートの活用による練り合いの充実
→ 実態把握と練り合いの準備
→ 自分の考えの正しさの確認と友達のよりよい考えの学び

O 数理的な処理のよさへの気づき
C₁「10のまとまり」で考えると、簡単！ C₂便利！！

O 適用問題 → C₁「10のまとまり」をつかってやってみたら簡単にできた！ おもしろい！！

